森先生：一人通読賜らば幸です。故.不田宏氏・高島龍興先生等のお目に止まりましたら。 H19.5.16 内田翔

〔講演記録〕

〔人間の条件〕

Ⅰ．手法の点検と多様な可能性への信頼（H14. 7.12講演）

Ⅱ．人間何で生きる　いかに、何故　（H14.10.16講演）

株式会社アルバック
技術顧問　内　田　岱二郎

○司会：内田さんのご略歴を簡単に紹介しますと、東京大学をご卒業されたあと、民間に一時いらっしゃいました。そのあと日本大学の理工学部にお勤めになり、このあと、名古屋大学のプラズマ研究所のプロジェクトリーダーをおやりになっています。そのあと一時東大に移られ、再度名古屋大学のプラズマ研究所に戻られて所長をおやりになりました。そのあいだに、当時の文部省に科学官というポストがございますが、そちらの兼任もされていらっしゃいます。

89年に定年退職され、日本真空技術（株）の取締役、最終的には代表取締役までおやりになり、98年にお辞めになって技術顧問の仕事をいまおやりになっています。

その間、井上春成賞を受賞されたり、この協会の有志の方々でおやりになっています新技術懇談会（昨年の10月から始っています）の座長もお努めいただいています。

それでは内田先生、よろしくお願いいたします。

○内田：ただいまご紹介いただきました内田でございます。なんともはっきりしない課題にもかかわらずたくさんの方にお集まりいただきまして大変ありがとうございます。

まず冒頭に小さなお詫びですが、お手元にお配りした表題が先ほどお読みいただいたものと主題と副題の順序が逆になっています。トップに「人間の条件」と書いてあり、これをよむと、お年を召した方は、どこかで聞いたことがあるなと（笑い）。五味川純平さんのあの本は私もよく読みました。戦争という背景の中での人間の生き方を扱った内容でした。今日はもう少し拡げまして、実際私たちが地球上で生きていくためにはどのような条件の中で生きていくことになるのか、そして特に、いまどのようなことがもっとも求められてい